

(公社)地盤工学会中部支部

一般公開行事
参加費無料

南海トラフ巨大地震 中部地域地盤災害研究委員会

中間報告会 & 特別講演会

2016年 6月3日(金)

中間報告会 13:30~15:50

特別講演会 16:00~17:30

名古屋大学工学部 ES総合館 ESホール

名古屋市千種区不老町 (地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車3番出口すぐ)

G-CPDポイント: 4.0

中間報告会

東日本大震災の甚大な被害を教訓にして、南海トラフ巨大地震への備えが喫緊の課題となっています。内閣府や各自治体の被害想定にもあるように、揺れや液状化による被害だけでなく、被災地域、被災者数、住宅被害や経済被害は東日本大震災を遥かに凌ぎます。

本委員会では、南海トラフ巨大地震に対する地盤災害の低減と早期復旧のための研究・技術提案、および、その情報を社会発信することを目的に活動を進めてきました。この度は、これまでの活動内容に関する中間報告会を開催させていただきます。

特別講演会

講師:

安田 進 先生
(東京電機大学 教授)



演題:

東日本大震災の地盤災害から
学んだ今後の備え

参加ご希望の方は、タイトルを「南海トラフ委員会中間報告会参加申し込み」と記載したうえで、参加者全員のお名前を、メールまたはFAXで下記までお知らせください。参加費は無料です。

連絡先

地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目9番26号ポーラビル8F

電話: 052-222-3747 FAX: 052-222-3773 E-mail: jibanachu@jeans.ocn.ne.jp

中間報告会 & 特別講演会

東日本大震災の甚大な被害を教訓にして、南海トラフ巨大地震への備えが喫緊の課題となっています。内閣府や各自治体の被害想定にもあるように、揺れや液状化による被害だけでなく、被災地域、被災者数、住宅被害や経済被害は東日本大震災を遥かに凌ぎます。本委員会では、南海トラフ巨大地震に対する地盤災害の低減と早期復旧のための研究・技術提案、および、その情報を社会発信することを目的に活動を進めてきました。この度は、これまでの活動内容に関する中間報告会を開催させていただきます。

また、中間報告会に続いて、東京電機大学の安田進先生を講師にお招きし、東日本大震災で被災した宅地の復旧・復興方法、既設構造物への液状化対策、首都直下型地震への対応と備えなど、「東日本大震災の地盤災害から学んだ今後の備え」について特別講演をして頂きます。

主催：地盤工学会中部支部 「南海トラフ巨大地震中部地域地盤災害研究委員会」

日時：平成28年6月3日（金） 13:30～17:30

場所：名古屋大学 ES総合館1F ESホール

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町

参加費：無料

定員：約150名

※ 参加ご希望の方は、タイトルを「南海トラフ委員会中間報告会参加申し込み」と記載したうえで、参加者全員のお名前を、地盤工学会中部支部までメールまたはFAXにてお知らせください。

地盤工学会中部支部（E-mail: jibanchu@jeans.ocn.ne.jp, FAX: 052-222-3773）

G-CPD ポイント：4.0

※地盤工学会 G-CPD ポイント付与ご希望の方は、御名前と個人会員番号もしくは G-CPD ポイントメンバー番号を受付にお申し付けください。

※地盤工学会以外の建設系 CPD 協議会加盟の団体所属の方で、受講証明書が必要な場合は、http://www.cpd-ccesa.org/unit_assent.php よりご所属団体申請書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当日ご持参ください。

<プログラム>

13:30～15:50 中間報告会

16:00～17:30 特別講演会

演題：東日本大震災の地盤災害から学んだ今後の備え

講師：安田進先生（東京電機大学教授）

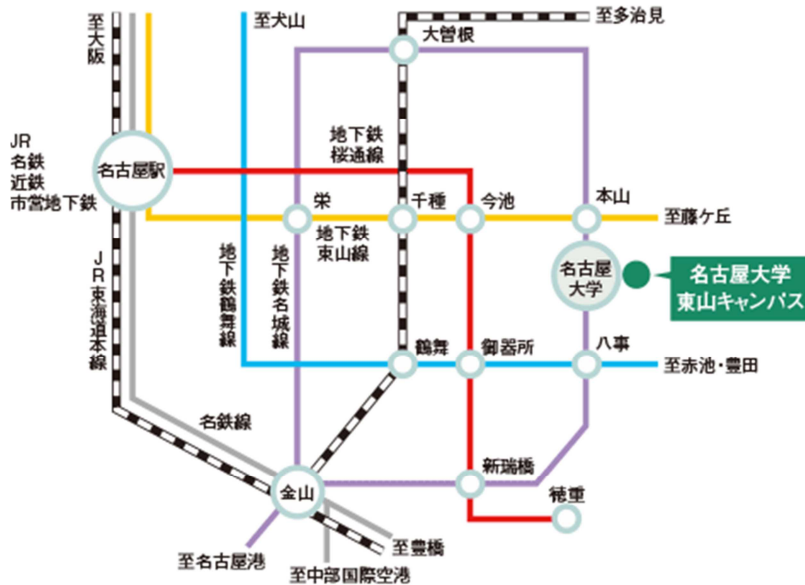


<名古屋大学 ES 総合館へのアクセス>

地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車3番出口すぐ



地下鉄路線図



問合せ先：地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目9番26号ポーラビル8F

電話：052-222-3747 FAX：052-222-3773

E-mail: jibanchu@jeans.ocn.ne.jp
